

第49回全国大会 化学・金属・繊維・資源工学部会主催 四部会合同見学会・部会 参加報告

化学/繊維/金属部会

副部会長 櫻井 理孝

(金属部門)



1. はじめに

金属部会では、毎年全国大会で会員の皆様が顔を合わせる機会を利用して、見学会を企画している。筆者は、これまで、中国・四国地方で開催された山口大会(2017年)と徳島大会(2019年)での見学会に参加してきた。

本年度は、化学・金属・繊維・資源工学部会の四部会合同で開催された。トヨタ産業技術記念館に集合し、見学会の後、名古屋国際会議場に移動し、四部会合同部会を行った。

中部本部化学・金属・繊維部会の世話役の皆様のご準備や会場移動の際の先導などのご活躍には目を見張るものがあった。

参加者数は、中部本部、統括本部(神奈川・千葉・埼玉県支部)、近畿本部、中国本部、他の技術士会員の参加で、計40名となった。

2. トヨタ産業技術記念館

見学に先立ち、大ホールにて、牧野功副館長様により同館について説明が行われた。同館は、トヨタグループの共同事業として、かつて豊田紡織株式会社本社工場であったグループ発祥の地に設立された。貴重な赤レンガの建物を産業遺産として保存・活用して、近代日本の発展を支えた繊維機械と自動車技術の変遷を紹介、「研究と想像の精神」と「モノづくり」の大切さを本物の機械の動態展示と実演を通じて伝えている。当日は、①QRコード開発ヒストリー、②環境技術(第1回)、③「からくり ご覧に入れます」展、の特別展の開催が紹介された。説明会の後、繊維機械館、自動車館を案内者の後について見学した。広大な建屋内の大迫力の実体展示や鑄造・鍛造の実体験により、繊維・自

動車産業の系譜などを学び・知ることができた見学会であった。

尚、2024年1月30日には、同館において、トヨタ自動車会長の豊田章男氏により、トヨタグループビジョンが発表された。



写真-1 「環状織機」の前で集合写真

3. 四部会合同部会

中部本部・野口様の司会で、金属部会、繊維部会、資源工学部会、化学部会の部会長・代表者のご挨拶から合同部会が始まった。

中部本部 化学・金属・繊維部会 池田和人部会長により、「愛知と東海のお話～ほとんどが愛知県のお話です～」と題して、名古屋愛に溢れる地元紹介の講演が行われた。また、中部本部の世話役の皆様のご挨拶、名刺交換会が行われ、全国の技術士、他部門の技術部会間の横断的交流を行うことができた。

4. さいごに

筆者は、金属部会の中国本部地域連携幹事として、2023年6月10日に中国本部会議室にて統括本部とのリアル交流会を行った。翌日には、中部本部との交流会にもZOOM参加してきた。今回の全国大会参加で、中部本部所属技術士とリアル交流もすることができた。